

歴史的資産としての貞山運河の利活用

1 貞山運河の歴史

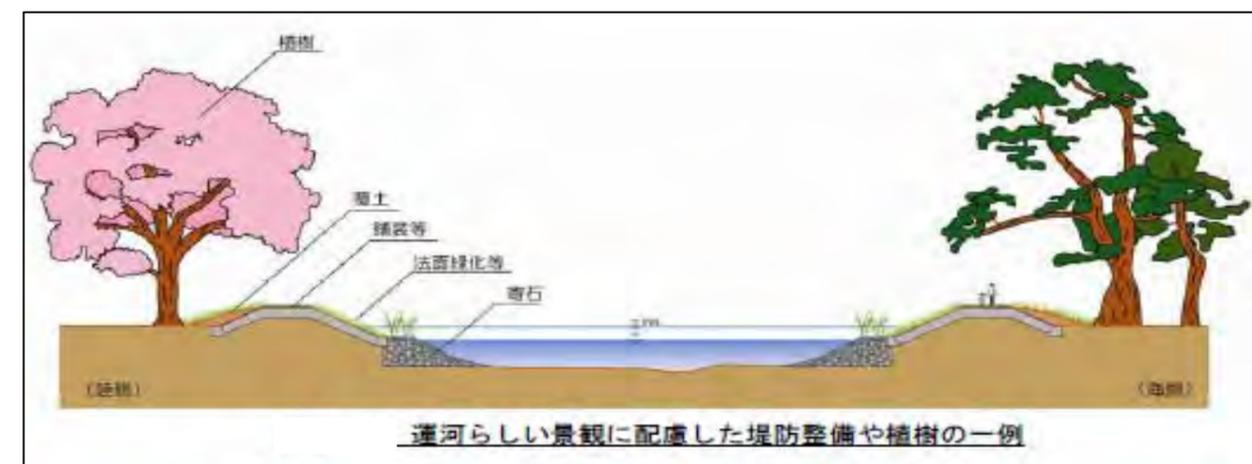
貞山運河（木曳堀、新堀、御舟入堀の総称）、東名運河、北上運河は、阿武隈川から旧北上川まで、全長約49kmにわたり仙台湾沿岸を繋ぐ日本一の運河群。

古くは、舟運を目的として江戸時代に建設が始まったもので、現在では治水や利水といった機能に加え、歴史、環境、景観等の魅力を有する土木遺産として、多くの方々に愛されてきた。

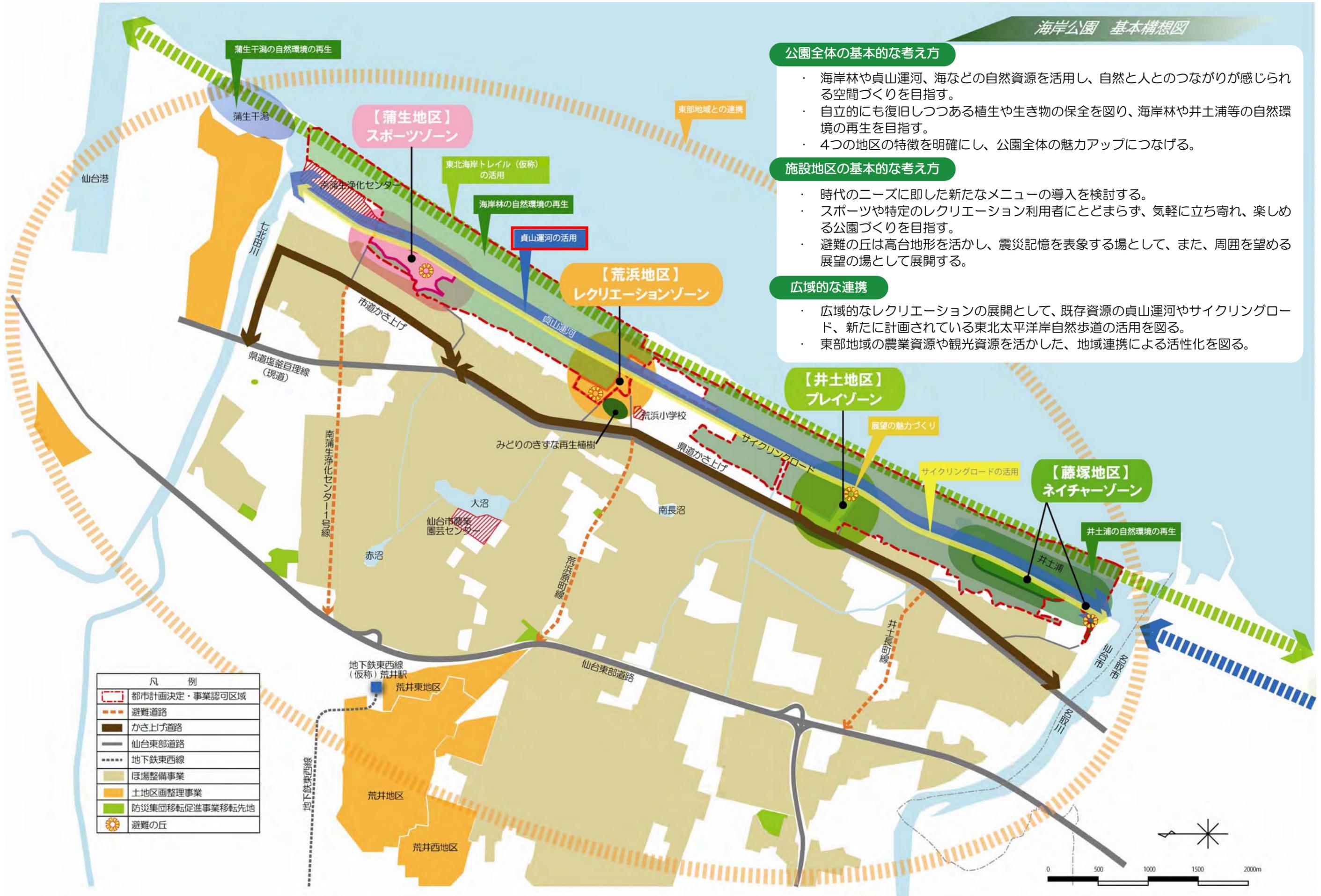


2 貞山運河再生・復興ビジョン（宮城県策定）

検討目的	貞山運河沿川地域の復興において目標とする姿や、その実現に向けた取り組みについて「貞山運河再生・復興ビジョン」に定め、宮城県が復興シンボルとして誇れる貞山運河の再構築を図る。
検討内容	<p>【基本理念】 運河群（貞山運河・東名運河・北上運河）の歴史を未来へと繋ぎ、運河群を基軸とした“鎮魂と希望”の沿岸地域の再生・復興</p> <p>【推進方策】</p> <p>基本目標・推進体制・具体施策の系体系図</p> <p>※ 県によるトップダウン型の計画ではなく、当該エリアで実施される様々な主体による事業が、運河群を基軸として、共通の理念のもとに調和を持って実施されるための羅針盤の役割を果たすものとする</p>



3 海岸公園復興基本構想（仙台市策定）



海岸公園 基本構想図

公園全体の基本的な考え方

- ・ 海岸林や貞山運河、海などの自然資源を活用し、自然と人とのつながりが感じられる空間づくりを目指す。
- ・ 自立的にも復旧しつつある植生や生き物の保全を図り、海岸林や井土浦等の自然環境の再生を目指す。
- ・ 4つの地区の特徴を明確にし、公園全体の魅力アップにつなげる。

施設地区の基本的な考え方

- ・ 時代のニーズに即した新たなメニューの導入を検討する。
- ・ スポーツや特定のレクリエーション利用者にとどまらず、気軽に立ち寄り、楽しめる公園づくりを目指す。
- ・ 避難の丘は高台地形を活かし、震災記憶を表象する場として、また、周囲を望める展望の場として展開する。

広域的な連携

- ・ 広域的なレクリエーションの展開として、既存資源の貞山運河やサイクリングロード、新たに計画されている東北太平洋岸自然歩道の活用を図る。
- ・ 東部地域の農業資源や観光資源を活かした、地域連携による活性化を図る。

凡 例	
	都市計画決定・事業認可区域
	避難道路
	かさ上げ道路
	仙台東部道路
	地下鉄東西線
	ほ場整備事業
	土地区画整理事業
	防災集団移転促進事業移転先地
⊙	避難の丘

